

【施策評価調査】

施策名	2-1-1	正しい食生活づくり		84	栄養バランスについて正しく理解し、実践します。 3食自分にあった量を食べ、適正体重を維持します。 1日1回は家族そろって食事をします。 ・生活習慣病の予防と改善のためには、正しい食習慣づくりの取り組みが必要となってきます。特にライフステージに併せた取り組みを実践していただくことが重要です。
	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当	健康づくり担当		住民、学校(保育園・幼稚園を含む)、関係団体、行政が協力して、健康に生活するための食に対する正しい知識の普及と理解に努め、推進会議を中心とした、食と農による人づくりを展開します。(高根沢町地域経営計画2006からの抜粋)
		リーダー	萩原敏子		
環境変化	食生活が乱れてきており、生活習慣病の増加やされる子どもが増えている。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：食事を1日3回規則正しく摂る人の割合(%)	生活習慣調査:H16.9実施	計画	80.0%	82.0%	85.0%	87.0%	90.0%
	79.3%	実績	90.90%	89.40%	89.70%		
指標：自分の適正体重を維持するカロリーや食事内容を知っている人の割合(%)	生活習慣調査:H16.9実施	計画	20.0%	22.0%	25.0%	28.0%	30.0%
	18.3%	実績	34.20%	34.20%	66.10%		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,590,720	2,584,000	4,255,000		
決算	2,185,810	2,476,705	3,818,393			

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか?(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
食に関する知識の普及事業費	H21 現計 2,325,000	食事を1日3回食べる人の割合	正しい食生活の知識を習得し、それぞれが実践することにより、生活習慣病予防へつながる。生活習慣改善により、医療費を圧迫している生活習慣病を減少させることができる。		
	H22 計画 2,374,000				
食育、地産地消推進事業	H21 現計 249,000	食育、地産地消推進委員会議	関係機関がばらばらに実施していることが体系化され位置づけされることにより、行政や各団体や町民の活動目的や目標が明確化される。関係機関の活動状況を把握することで、食育地産地消推進事業の進捗状況を評価することができる。		
	H22 計画 278,600				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				条件付継続
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				条件付継続
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				条件付継続
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				条件付継続

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	園や学校と連携することにより、学力と一緒に健康で生活するための知識を習得できるよう教育の中に食育を取り入れていく。また、子どもをとりまく家庭や社会を安心安全なものとするよう、地域での食育、地産地消活動を活発にしていこう。	
現状水準維持			
総合評価	総合評価		
	プロジェクトを再編するなど意欲的に施策展開していることを評価する。ただし、農産物直売農家の活用や、体験活動に係る他課との連携が課題となるので、後期計画に向け、現状のデータを広く分析した上で、積極的な施策展開を期待する。		